

平野公園について～知られざる歴史に迫る!!～ 資料 11-C

1 年 3 組 C 班

〇〇〇〇 〇〇〇〇

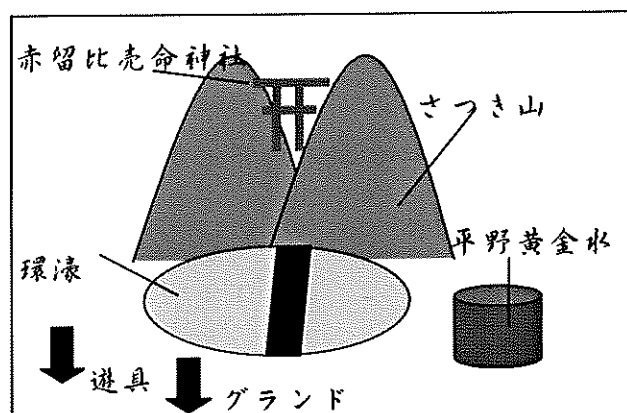
〇〇〇〇 〇〇〇〇

1. はじめに…

この公園は、昭和 3 年に建てられて歴史の深い公園です。そのためたくさんの遺跡が残っています。遺跡が、昔の生活や様子についてたくさんの事を導き出す手だてとなります。そういう意味できっと平野を知るための重要な場所です。そこで、私たちは平野公園を調べてみる事にしました。

2. 平野公園とは?!

平野公園は「グラウンド」「遊具」「さぬき山」「環濠」「平野黄金水」「赤留比売命神社」にわかれています。それでは、順番に詳しく説明していきましょう。



①グラウンド

公式戦の野球の試合が出来るくらいの広さです。普段はサッカーなどいろんなスポーツに使われています。

②遊 具

私たちがいった時は小さな子供たちがたくさんいました。特別広い訳ではありませんが、少し遊んだりするのに最適だと思います。

図 1 平野公園の略図

③さつき山

小さ丘になっています。散歩コースに最適ですね。木々が多くすごく良いところです。夏は涼む事が出来ます。

④環 濠

さつき山の前にある松山池の事です。昔は戦争に使われるような状態だったのですが、明治の時に埋められてしまい今では杭全神社とここ、平野公園でしかあとがみらなくなっています。

⑤平野黄金水

坂野上広野麻呂によって荘園として開かれ以来水道管が普及するまでは付近の住民にとって貴重な飲料水でした。また、酒造業にも利用されるなど自由都市平野郷の発展を支える大きな役割を果たしました。

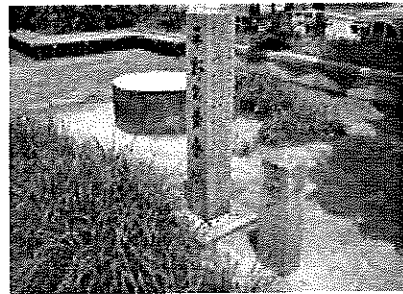


図2 平野黄金水

⑥赤留比売命神社

新羅から来た赤留比売命を渡来氏族の氏神として祀った平安時代頃に建てられた神社です。この頃は、平野も交際の交流をしていた事がわかります。

3. 戦火に巻き込まれる平野

2. で話した中に「環濠」がでてきましたが…平野は元々環濠集落として有名です。中世交通に必要な平野は度々戦火に巻き込まれました。そこで、民衆は13の入り口のある環濠を作りました。そのうちの一つ、八尾久宝寺の出入り口「平野郷樋尻口門跡」が平野公園にあります。他にも、土塁などを建てて自分たちの町を守りぬきました。「環濠とし平野郷」の成立です。それからほかの地域や外国との貿易も開始され大商業を営む人が出てきました。好景気の中では文化も発達し、連歌や茶道、能楽などが市民に普及し次々と開所されました。そして、現在に至りました。今も、江戸時代に完成した碁盤目の町割りがそのままに残り寺院や文化財にも恵まれた町としそのまま営まれています。

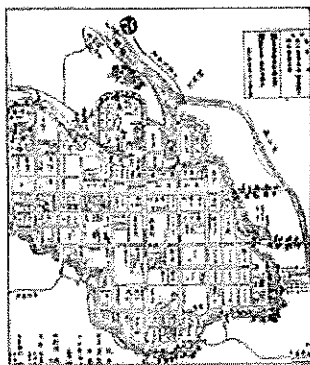


図3 昔の平野郷
(摂津平野図絵より)



図4 平野郷樋尻口門跡

4. 最後に…

この平野公園を調べてたくさんの事を学びました。自分たちが普段生活する中でほとんどの生活場所がここ、平野です。平野という広い範囲の中から選んだ平野公園からたくさんの事を学びました。昔の人たちが知恵を振り絞って守ってきた平野を、これからは、私たちが守っていく番だと思います。もっともっと平野について知って、触れて残り少ない歴史を守っていききたいと思います。

最後になりましたがお忙しい中インタビューに応じてくださった、平野公園に来られていた方々にこの場を借りてお礼申し上げます。私達のインタビューにお付き合いくださってありがとうございました。これからも平野公園を大切にしていきたいと思っています！

※本文中の図はすべて担当者が作成・撮影をおこなった。